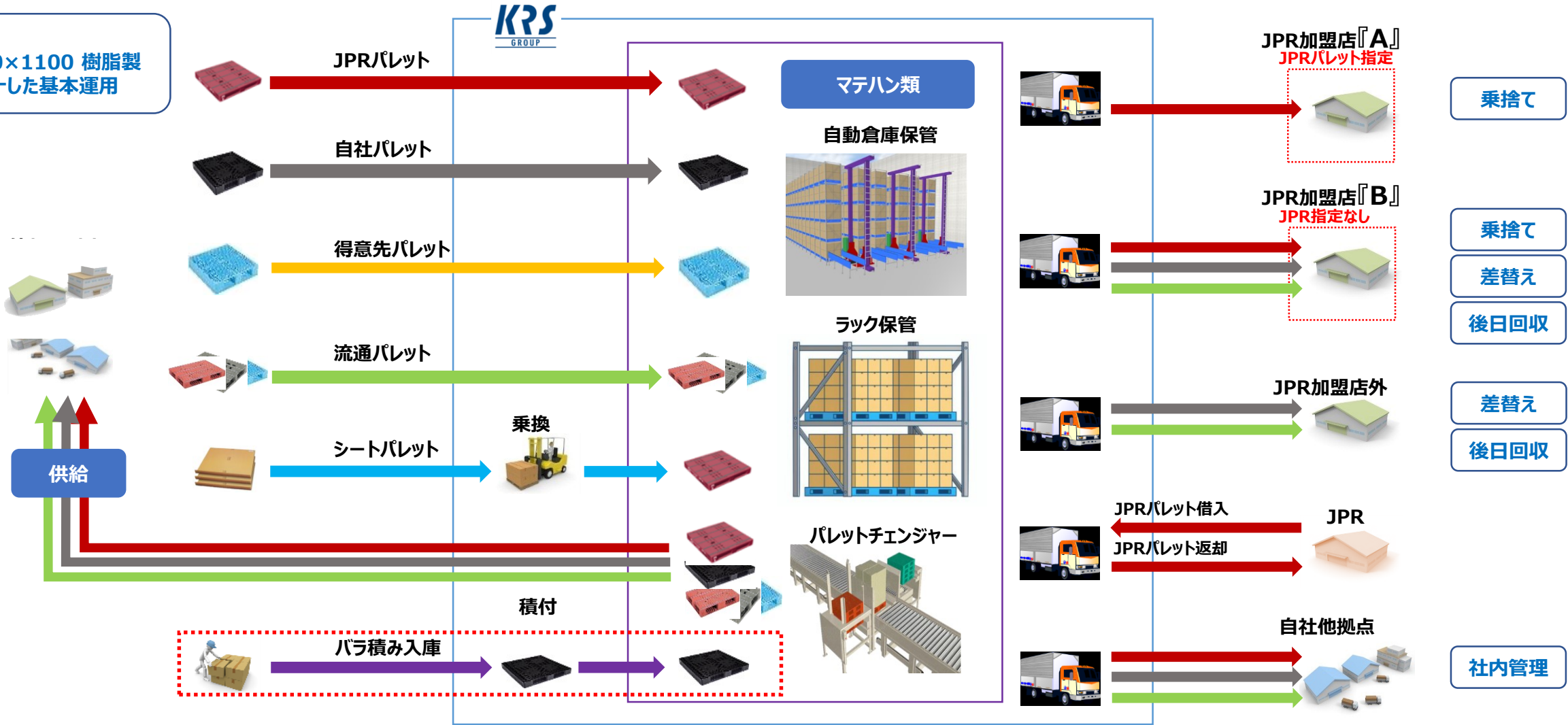


発表資料：5枚

～パレチゼーションの取り組みと課題について～

2022年10月28日
株式会社キューソー流通システム
キューピー株式会社

規格
1100×1100 樹脂製
で統一した基本運用



- 乗捨て
- 乗捨て
- 差替え
- 後日回収
- 差替え
- 後日回収
- 社内管理



● 1990年代以前



業界内は素材・規格など様々
当社は1100×1000の規格
を使用して営業活動

規格統一により商品積付けもハイ段ハイ面など統一でき、入荷～出荷に至り作業性が向上。また配送に於いて、パレットのまま納品が主流となり作業性は更に向上。一方で、新たな課題も生まれてくる事になる

● 1990年代中期



市場の潮流よりJIS規格である1100×1100規格で統一の方針☞投資計画策定

● 2000年代初期



繁閑差による物量波動、得意先への供給責任などに対応する為レンタルを開始

● 2010年代中期以降



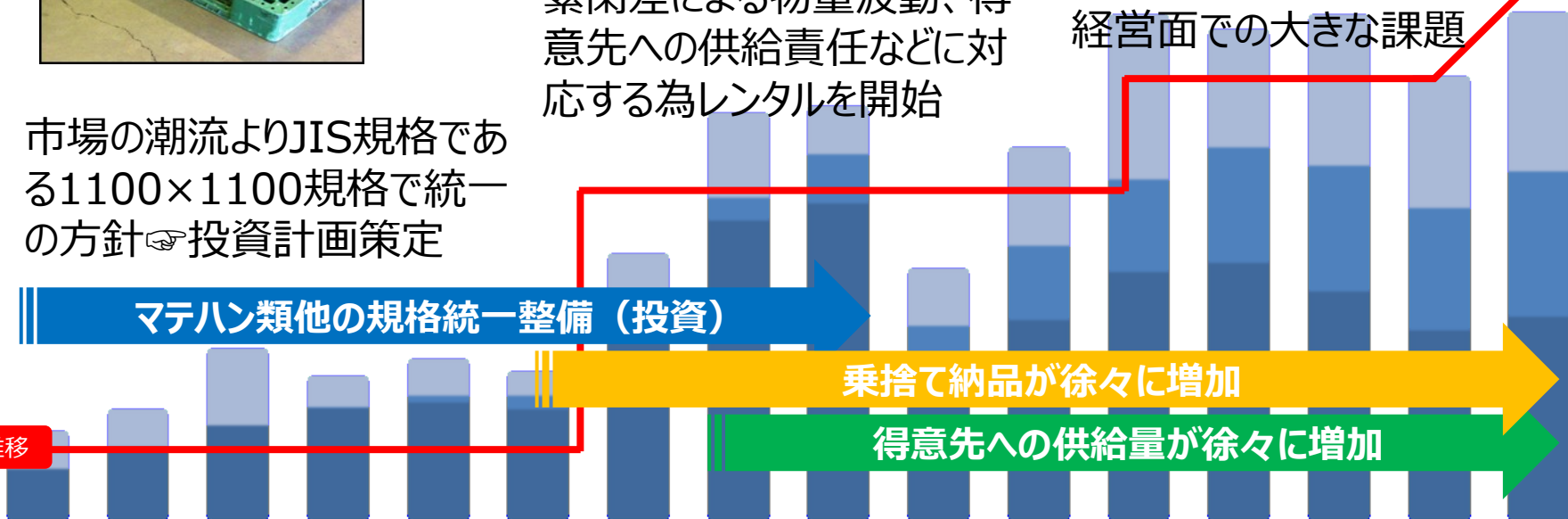
毎年の購入投資、レンタル、乗捨て費などパレットコストが経営面での大きな課題

コストの推移


マテハン類他の規格統一整備（投資）

乗捨て納品が徐々に増加

得意先への供給量が徐々に増加



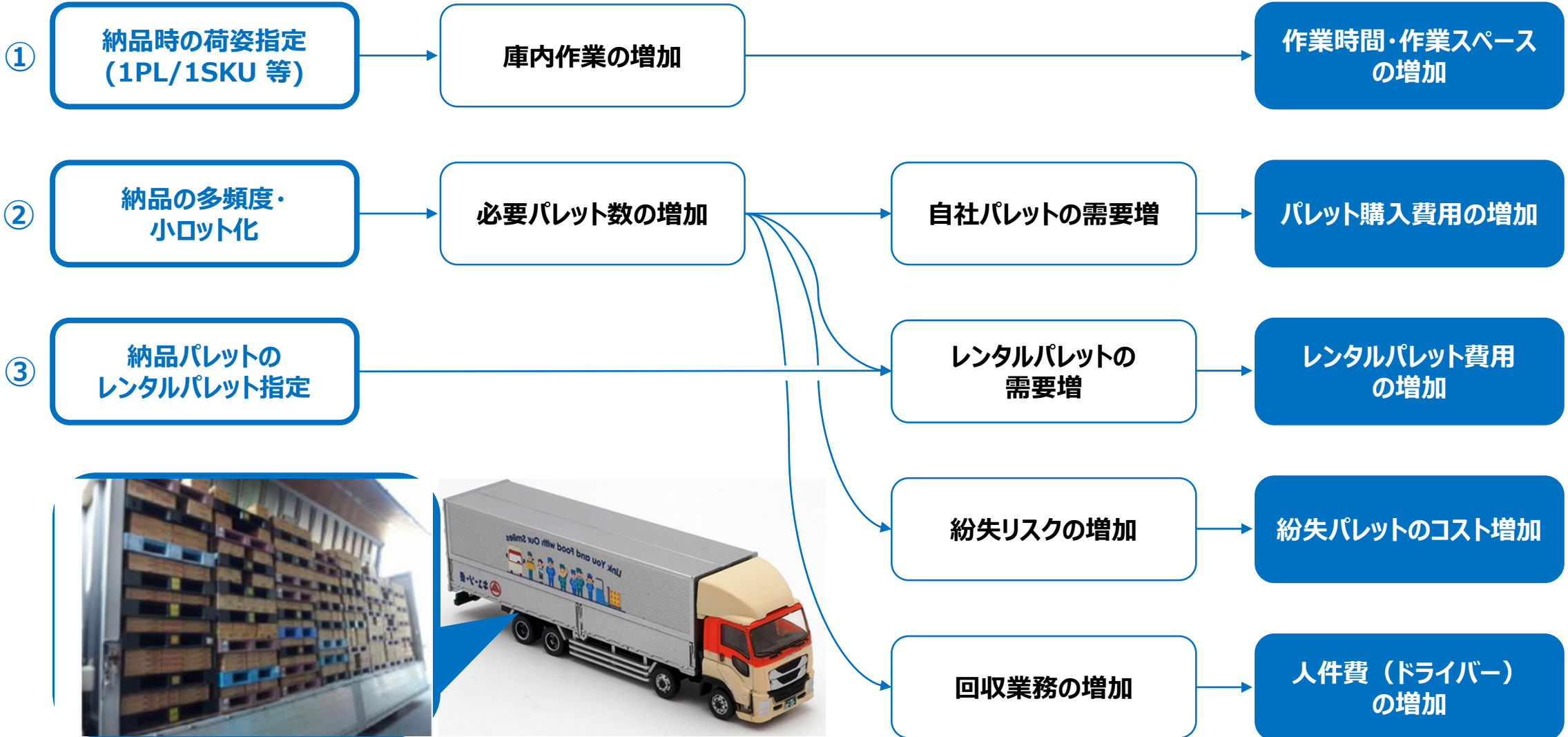
	初期投資	業務運用	パレット回収	管理・メンテナンス
バラ	不要	ケースを1つずつ積み込む必要があるため、荷役の負荷が高い	不要	不要
自社パレット (流通パレ含) 活用	保管・輸送に必要なパレットを全て自社管理した場合、毎年数億円単位の投資額が必要となる	一貫パレット運用により、荷役/積込/荷下ろし作業が省力化	回収には着店の協力が必要のため、回収が困難なケースも存在する 紛失パレットに関して補填するコストが必要	パレットの劣化による減耗分の購入が必要 ※使用不可パレット廃棄はリサイクル処理業者へ
レンタルパレット活用	パレット購入費用を、レンタル費用として変動費化従量課金のため、遊休時のコスト分を削減	一貫パレット運用により、荷役/積込/荷下ろし作業が省力化	パレット回収業務の委託	レンタルパレット会社がパレットの品質を管理・保証


 パレット管理・運用に関する煩雑な業務をレンタルパレット会社に委託し業務負荷を軽減☞一貫パレチゼーションへ進んできた経緯。しかし年々レンタルパレットに関するコストは増加し経営を圧迫する事にも繋がっている。またお届け先様軒先環境、お届けする商品ロット・・・など経年大きく変化しており対応するハードルは高い。

直近のトレンド

物流現場への影響

物流会社への影響



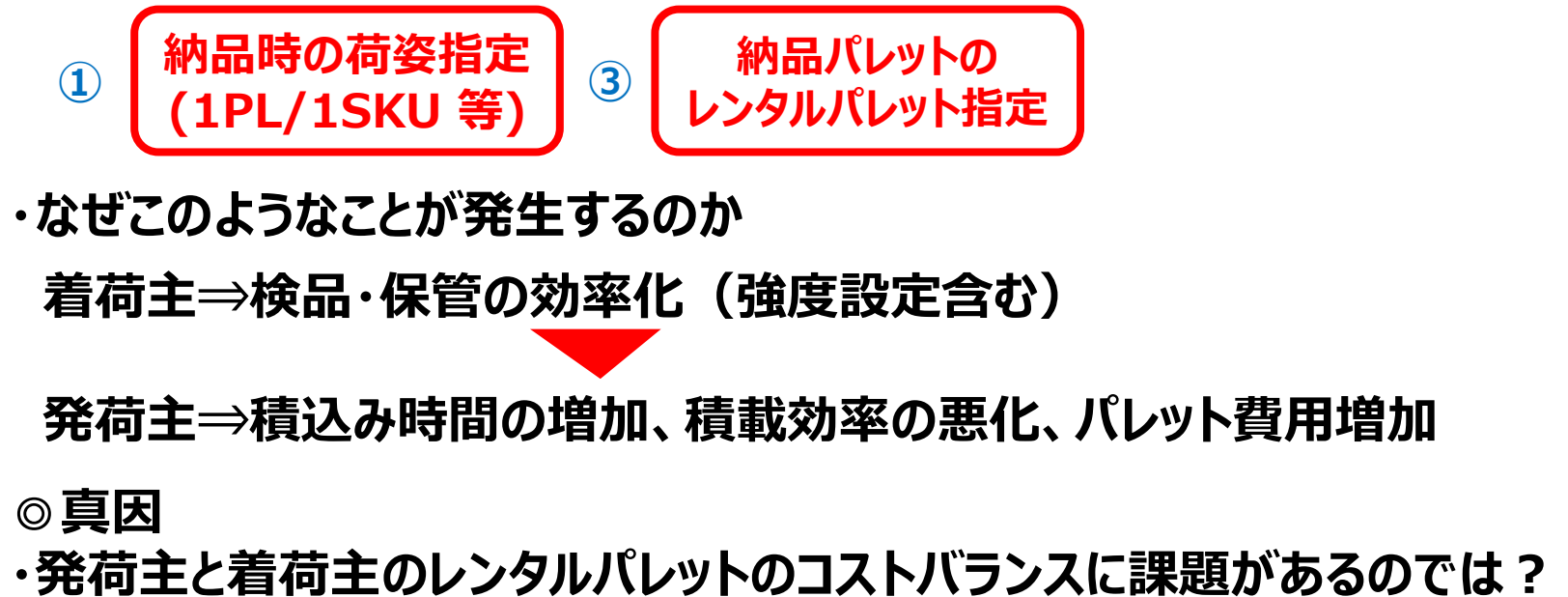
コスト課題



○発荷主がやるべきこと



○業界で見直すべきこと



☆費用構造解消が第一優先で進めるべきことではないか ⇒ 業界の附帯作業改善にもつながる

ご清聴、ありがとうございました